

〈評定〉 4…期待以上 3…ほぼ期待どおり 2…やや期待を下回る 1…改善を要する

目 標	自 己 評 価			学校関係者評価委員の評価	
	評 価 内 容	評定	成 果…○	課 題…●	改 善 策…□
目標1 学力の向上 ○ 基礎学力の定着と指導の工夫改善により学力向上をめざす。	○ キャリア教育の視点で、日常の授業の工夫改善を図り、カリキュラムマネジメントを意識した教育活動の展開を図る。	3	○ 教師がキャリア教育に関する理解を深め、学習の目標とキャリア教育の関連について意識し教育活動を行うことができた。 ● 本校の研究を通して積み上げたキャリア教育の知識や意識を、次年度以降も継続していく必要がある。 □ 今年度の研究で積み上げたものを土台とし、作成した年間指導計画を確実に実践するための手立てを考え、カリキュラムマネジメントを意識した教育活動を展開することで、諸活動の有機的な関連を図り、さらに児童のキャリア発達を支援していく。		
	○ 子どもが主体的に学ぼうとするわくわくした学習活動の展開に努める。	4	○ 子どもの興味・関心を高めるような展開が工夫された学習が増え、児童の主体性が向上した。 ○ 児童の学び合いの中で自分の意見を言える児童が増えた。また、相手の気持ちを聞くことのできる児童が増えた。 □ 次年度も、分かる授業を展開したり、友達や先生と一緒に活動したりすることを重視し、児童が成長することのわくわく感を感じ取ることができるようにしていきたい。		
	○ 電子黒板やデジタル教科書を積極的に活用するとともに学習指導の工夫改善に努める。 ・算数科での電子黒板・デジタル教科書の利用率100%をめざす。	4	○ 全ての学級で、電子黒板やデジタル教科書を活用することができた。電子黒板が配置されていない特別教室では、プロジェクターを使ってデジタル教科書を活用することができた。 ● 児童の実態によっては、電子黒板より黒板や机上での指導の方が効果的であった。 □ 次年度は、タブレットの配置も計画されているので、活用の仕方について研修を行い、さらにICT機器の活用の推進を図る。		
	○ Web単元学習等を活用を推進するとともに、活用の仕方について常に工夫をする。 ・CRTで全国平均を上回る。	3	○ Webテストの実施は100%できた。答え合わせを兼ねて復習することができた。 ○ CRTの結果を分析し、学級ごとの具体的指導方針を定め実施した。 ・国語科…3つの学年で全国平均を上回ることができた。残りの3つの学年も全国比が97、99、99であったので、ほぼ全国平均と考えてよい。 ・算数科…全ての学年で全国平均を上回ることができた。 ● Webテストの正答率の悪い問題に関して分析ができなかった。 □ 本年度のCRTの分析を学年度末・次年度において指導に生かす。		
	○ 本に親しむ場や時間を計画的に設定し、児童が進んで読書をする機会を増やす。 ・自分から進んで読書をする児童80%以上をめざす。	3	○ 教師の読み聞かせが効果的であった。 ○ 図書室を効果的に活用した。 ○ 児童が興味ある本を、「きらり」から借りて読ませることができた。 ● 児童アンケートの結果によると、「A よくできた」と「B できた」を合わせた児童の割合は、約66%であった。 ● 家庭での読書の取組が十分ではない。 □ ファミリー読書週間の啓発を図る。		
	○ 「家庭での学習の仕方」を活用し、家庭と連携しながら家庭学習の充実を図る。 ・自分から進んで家庭学習に取り組む児童80%以上をめざす。	3	○ 児童アンケートの結果によると、「A よくできた」と「B できた」を合わせた児童の割合は、約84%であった。児童は自ら進んで家庭学習に取り組んでいると言える。 ● 保護者アンケートの結果によると、保護者が児童の家庭学習を見守る余裕がない。 □ 家庭学習の習慣や方法を示し、自学ができる児童を育てるとともに、保護者の家庭学習への関わり方の手立てや工夫を示す。		
			成果…○ 課題…● 改善策…□	成果…○ 課題…●	〈評定〉…3.5 ○ 子ども達の様子を見てると夢をもって頑張ろうという姿が見られる。その夢を叶えるために、目標をもって取り組んでいるのだと思う。 ○ 授業を参観すると、子ども達が励まし合いながら授業に臨んでいた。 ○ どの学年のどの授業でも、子ども達が主体的に目的をもって取り組んでいる様子がうかがえた。子ども達の姿が、どんどん変わっていている。 ○ 児童数が少ないという上新田小の特性を生かして、様々なことの指導が徹底している。 ○ CRTの結果は、とても素晴らしい。 ○ 様々なことの習慣化を図るためには、繰り返し取り組ませることがその子ども自身の気付きにつながる。そうすることで、自主的にできるようになっていく。子ども達を見てみると、そのような姿が見られるので嬉しい。 ● 保護者の子育てに関する悩みを相談したりする場が、地域の中にあるとよい。

目 標	自 己 評 価			学校関係者評価委員の評価 成果…○ 課題…●
	評 価 内 容	評 定	成 果…○ 課 題…● 改 善 策…□	
目標 2 人間力の向上 ○ 望ましい生活習慣の定着とよりよい人間関係づくりを推進する。	<input type="radio"/> 「凡事徹底」を踏まえ、当たり前前のことを当たり前前に徹底して行おうとする意識を高める。	3	<input type="radio"/> 児童一人一人に、「凡事徹底」の意識が定着し、実践しようとする姿も多く見られるようになった。 <input checked="" type="radio"/> 個別に指導を要する児童も少数ながら見られる。 <input type="checkbox"/> 集団下校前の時間等に、具体的な事例を挙げて指導の徹底を図る。	〈評定〉…3. 6 <input type="radio"/> 「凡事徹底」という言葉を地域でも耳にすることがある。子ども達の様子から、「凡事徹底」が子ども達に定着してきていることを感じる。 <input type="radio"/> 子ども達が、とても落ち着いている。 <input type="radio"/> 校長自らが、子ども達に関わっている。子ども達は、わくわく感をもっている。 <input type="radio"/> 地域でも挨拶のよい子どもがいる。今後も、地域の大人から挨拶の声をかけるようにしていきたい。 <input checked="" type="radio"/> いじめの問題が起こらないように、今後も注意深く見守っていただきたい。
	<input type="radio"/> 学校全体、各学級で「自分もOK、相手もOK」を意識させる指導を計画的に行う。 ・「自分もOK、相手もOK」を常に意識して行動していると自覚している児童80%以上をめざす。	3	<input type="radio"/> ルールやマナーを守ることの気持ちよさが実感できるようになってきた。 <input type="radio"/> 児童アンケートの結果によると、「A よくできた」と「B できた」を合わせた児童の割合は、約86%であった。 <input checked="" type="radio"/> ほとんどの児童は実践できているが、個別に指導を要する児童が見られる。 <input type="checkbox"/> 伝統ある大切な合い言葉が風化していかないように、新たな働きかけを工夫していく。	
	<input type="radio"/> 気持ちのよい挨拶や返事でコミュニケーション力を育てる。 ・自分から元気よく挨拶する児童80%以上をめざす。	3	<input type="radio"/> 児童は、挨拶をしようとする意識が高くなってきている。 <input type="radio"/> 児童アンケートの結果によると、「A よくできた」と「B できた」を合わせた児童の割合は、約83%であった。 <input checked="" type="radio"/> 自分から進んで挨拶する児童と、そうでない児童とに二極化している。 <input type="checkbox"/> 全児童が気持ちのよい挨拶ができるように、モデルを示すなどして、継続した指導を行う。	
	<input type="radio"/> 教師全員の目で常にトイレのスリッパの並びを確認する。 ・トイレのスリッパ並びがよくできる児童90%をめざす。	3	<input type="radio"/> 自分から進んでトイレのスリッパを並べる児童が多い。 <input type="radio"/> 児童アンケートの結果によると、「A よくできた」と「B できた」を合わせた児童の割合は、約90%であった。 <input checked="" type="radio"/> トイレのスリッパを並べない児童が、ごくわずかだが見られる。 <input type="checkbox"/> 徹底してトイレのスリッパを並べることができるように、教師全員で指導を進める。家庭でも履き物を並べるように、共通実践を呼びかける。	
	<input type="radio"/> 称賛と承認の場を全校や各学級で意図的に設定し、自尊感情を育て、いじめや不登校を未然に防ぐようにする。 ・いじめや不登校の発件数0をめざす。	3	<input type="radio"/> 各学級で、称賛の場を設定することができている。 <input type="radio"/> 自尊感情を育てることができ、児童はいろいろなことにチャレンジするようになった。 <input checked="" type="radio"/> 友達と良好な人間関係が築けない児童に対して、常に注意をして見守る。 <input type="checkbox"/> S S Tの指導や、いじめ不登校対策会のさらなる充実をめざす。	

目 標	自 己 評 価			学校関係者評価委員の評価
	評 価 内 容	評 定	成 果…○ 課 題…● 改 善 策…□	成 果…○ 課 題…●
目標3 健康・体力の向上 ○ 安全で健康的な生活の習慣化と体力の向上をめざす。	○ 「立腰」指導を行い、よい姿勢を常に意識させるとともに、やる気や集中力、持続力を高め、心と体の健康を高める。	3	○ 「立腰」の言葉の意味が浸透し、児童の意識が高まった。 ● 授業中の姿勢については、徹底した取組が必要である。 □ 各学級で、帰りの会の際に「立腰」CDをかけ、反省の時間とする。	〈評定〉…3.5 ○ 「立腰」指導については、素晴らしい取組なので、今後も徹底して指導してほしい。 ○ 地域の中に歯科医院がないという問題があるが、今後も「歯は大事」という意識を子ども達にもたせてほしい。 ○ この季節でも、昼休み時間に半袖姿で遊んでいる子どもがいる。体力づくりで結果を出していることは、大変素晴らしい。 ○ 昼休み時間に運動場で子ども達と一緒に遊ぶ先生達の姿は、とてもいいと思う。遊びの中で子ども達の様子を理解することは、学習面にも生かされる。 ○ 「弁当の日」の取組により、子ども達の食に関する意識が高まったのだと思う。
	○ 「げんきカード」で児童の実態を把握し、健康的な生活習慣の指導を行う。	3	○ 生活習慣について改善が見られた児童もいた。 ● 課題のある児童の固定化が見られるので、家庭との連携がより必要である。 □ 個別対応として、保護者への協力を呼びかける。	
	○ 歯に対する関心を高め、指導を実施する。 ・ 歯科受診率70%以上をめざす。	3.5	○ 「げんきカード」を基にした養護教諭の個別指導が効果的であった。 ● 歯科受診率は、約67.0%（3/3現在）である。昨年度末は、約72.6%であった。100%達成の学年もあった。 □ 個別指導の実施や懇談資料の配付、長期休業前の受信カード配付等の取組を粘り強く行う。	
	○ 放送・体育委員会の呼びかけなどで、積極的に外に出て遊ばせる。 ・ 天気のよい日の昼休みに外に出る児童90%以上をめざす。	2.8	○ 2年連続で、県教育委員会より「体力づくり優良校」として表彰された。 ○ 児童による毎日の呼びかけで、外に出て遊ぶ児童が増えている。 □ 体育委員会で企画し、全校で遊ぶ日を学期1回実施する。	
	○ 給食の時間や「弁当の日」を通して、食べ物を大切にすることを育てる。 ・ 給食の残菜量を昨年度より減らす。 ・ 「弁当の日」の参加率100%をめざす。	3	○ 給食の残菜量は、1日あたり約0.9kg（3/3現在）である。昨年度は1日あたり1.6kgであった。 ○ 給食の残菜量0kgの日が6日（3/3現在）あった。昨年度は、0日であった。 ○ 「弁当の日」の参加率は、ほぼ100%である。 □ 「弁当の日」の意義についての掲示資料を作成し、さらに意識を高める。	